

613. 伐採及び伐採後の造林の届出書の記載内容

伐採する森林のある市町村毎に提出。

伐採及び伐採後の造林の届出書

伐採を行う90日から30日前までに提出

〇年〇月〇日

〇〇市町村長 殿

- ・伐採者と造林者が異なる場合には連名で作成。
- ・同一の場合は、1名の記載で構わない
- ・共有林等で届出者が多数になる場合には、別紙等で添付。

伐採する者
 住 所 〇〇市〇〇町〇-〇-〇
 届出人氏名 〇〇 〇〇 押印不要
 造林する者
 住 所 〇〇市〇〇町〇-〇-〇
 届出人氏名 〇〇 〇〇 押印不要

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

本伐採は届出者である〇〇 〇〇が所有する立木を伐採するものです。

伐採する立木の所有者を記載。

1 森林の所在場所 伐採を行う一団の森林毎に提出。

〇〇市〇〇町字〇〇 地番1234-1、1234-2

2 伐採及び伐採後の造林の計画
別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

複数の地番にまたがる場合は、全ての地番を記載。(欄に記入しきれない場合は別紙等で添付。)林地台帳等で林小班を確認し、メモする。

3 備考 ※転用の場合「転用目的」と記載※森林法以外の法令により施業の制限がある場合はその種別を記載。※適合(確認)通知書の発行希望の有無を記載。

14. 伐採計画書の記載内容・確認のポイント

皆伐、択伐、間伐のいずれかに○印をする。皆伐・択伐・間伐及び伐採率について、市町村森林整備計画の定めと整合しているか確認。

伐採計画書

- ・小数点第2位(第3位を四捨五入)まで記載
- ・市町村森林整備計画に定める面積(20ha等)を超えている場合には適切な保護樹帯の設置が必要

伐採する者
 住 所 〇〇市〇〇町〇-〇-〇
 氏 名 〇〇 〇〇 人工林天然林の内訳を記載

伐採の計画

伐採面積	2.02ha(うち人工林1.05ha、天然林0.97ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100%
作業委託先	作業を外部委託する場合は、委託先を記載。		
伐採樹種	すぎ、ひのき、まつ(あかまつ、くろまつ)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他針葉樹、ぶな、くぬぎ、その他広葉樹に区分して記載。		
伐採齢	森林簿等を参考に伐採する立木の林齢を記載。 (複数の伐採齢がある場合には、もっとも多いものを記載し、最大と最小を〇~〇として記載)		
伐採の期間	〇〇年〇月〇日~〇〇年〇月〇日 ※1年を超える場合には年次毎に記載。		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員 3.0m・延長 150m		

2 備考 幅員3mを超え、かつ幅員×延長が10,000㎡(1ha)を超える場合には、林地開発許可が必要。

15. 造林計画書の記載内容・確認のポイント ①

造林計画書

伐採計画の伐採方法が「間伐」の場合は、
造林計画の作成は不要。

造林する者
住 所 ○○市○○町○-○-○
氏 名 ○○ ○○

小数第2位まで記載。
伐採計画の主伐面積に一致するよう計画。

1 造林の計画
(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積(A+B+C+D)		2.02ha
人工造林による面積(A+B)		1.05ha
植栽による面積(A)		1.05ha
人工播種による面積(B)		ha
天然更新による面積(C+D)		0.97ha
ぼう芽更新による面積(C)		0.97ha
天然更新補助作業の有無	地表処置・刈出し・植込み・その他()・なし	
天然下種更新による面積(D)		ha
天然更新補助作業の有無	地表処置・刈出し・植込み・その他()・なし	

次の区域では、主伐後は人工造林による更新を指導
・植栽によらなければ適確な更新が困難な区域
・木材生産機能維持増進森林のうち特に効率的な施業が可能な区域
※特に、「植栽によらなければ～」の場合は、変更命令の対象にもなりうる。

16. 造林計画書の記載内容・確認のポイント ②

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の 造林面積	樹種別の 植栽本数	作 業 委託先	鳥獣害 対 策
人工造林 (植栽・人工播種)	R8.9.1~ R8.11.30	ヒノキ	2.02ha	6000本	〇〇森 林組合	忌避剤 散布
天然更新 (ぼう芽更新・ 天然下種更新)	R8.4.1~ R10.3.31	ブナ・ ミズナ ラ	0.97ha			
5年後において 適確な更新が なされない場合						

市町村森林整備計画における対象樹種であるか確認。
外国樹種など対象外樹種については、
林業普及指導員等と相談し適切な樹種であるか確認。

市町村森林整備計画に定める樹種別の植栽本数×造林面積となっているか。

市町村森林整備計画に定める樹種別の期待成立本数×30%×造林面積となっているか。

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

※伐採後5年以内に森林以外に転用する場合にはその用途及び時期を記載
(5年後以降に転用を計画している場合には、造林の計画が必要)

2 備考

伐採後の用途: 道路用地、工業用地、宅地用地、資材置き場
令和〇年〇月転用予定

17. 伐採及び伐採後の造林の計画の適合（確認）通知書の発行

- 届出者からの申請に応じ、届出書が市町村森林整備計画に適合していることを証する通知書を発行可能。（転用の場合は、届出書が提出されていることを確認する通知書）
- 適合（確認）通知書は、木材の合法性や地域材の証明等としても利用される。

伐採及び伐採後の造林の計画の適合通知書

(例)

〇年〇月〇日

〇〇〇〇殿

〇〇市町村長

年 月 日に提出のあった伐採及び伐採後の造林の届出書に記載された下記の伐採及び伐採後の造林の計画は、市町村森林整備計画に適合すると認められるので、通知する。

記

提出された伐採及び伐採後の造林の届出の概要

森林の所在場所：〇〇市(町村)大字〇〇字〇〇地番

伐 採 面 積：5.00ha

伐 採 方 法：主伐(皆伐・択伐)・間伐 伐採率(%)

伐 採 の 期 間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

伐 採 樹 種：すぎ

伐 採 齢：60

集 材 方 法：集材路、架線、その他()

造 林 の 方 法：人工造林(植栽)人工播種)

天然更新(ほふ芽更新・天然下種更新)

樹種：すぎ、本数：15,000本

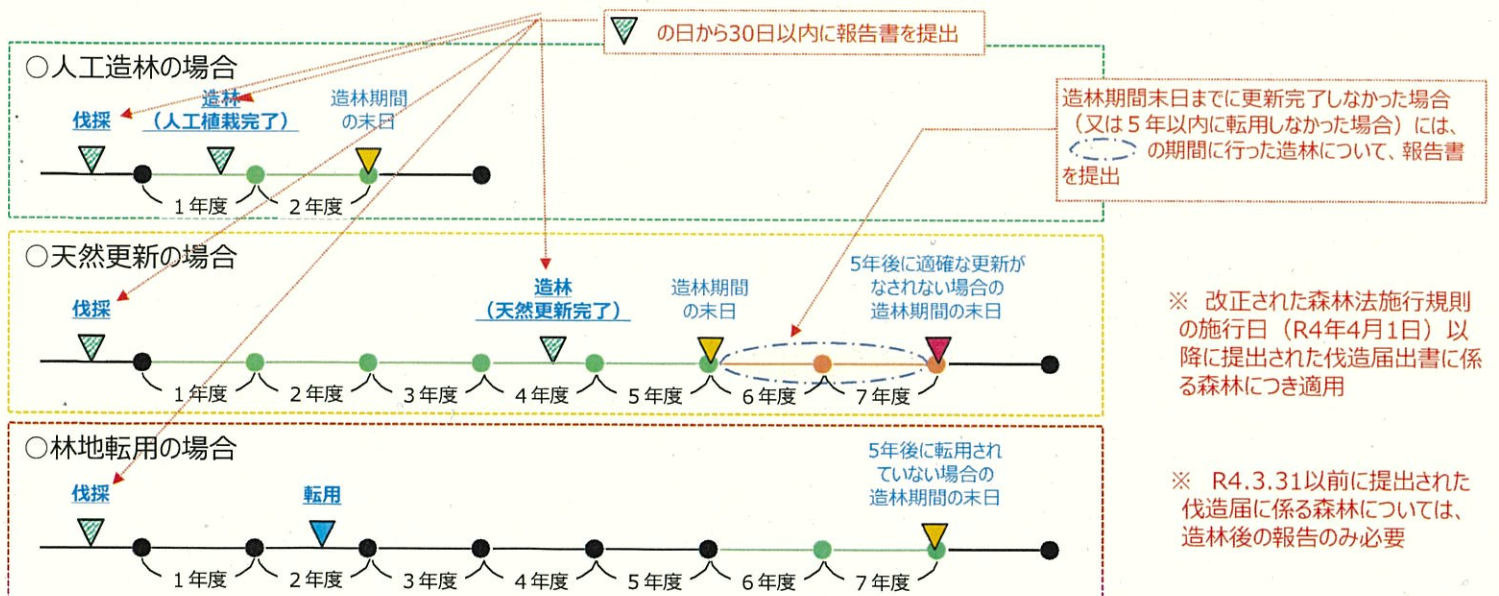
造 林 の 面 積：5.00ha

造 林 の 期 間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

鳥 獣 害 対 策：なし

18. 伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告

- 「伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況の報告」は、伐採した森林（間伐を除く。）について、**伐採が終わった日 及び造林が終わった日**（伐採後に森林以外の用途に供する場合は、**伐採が終わった日のみ。**）の状況について、**それぞれ30日以内に市町村長に報告書を提出**（森林法第10条の8第2項）



19. 伐採に係る森林の状況報告書の記載内容・確認のポイント

伐採に係る森林の状況報告書

市町村長 殿 住所 報告者 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

年月日

年月日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

記

1 森林の所在場所

市	町	大字	字	地番
郡	村			

2 伐採の実施状況

伐採面積	ha(うち人工林 ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
作業委託先			
伐採樹種			
伐採齢			
伐採の期間			
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 m・延長 m		

3 備考

伐採後の用途(例)道路用地、工業用地、宅地用地、資材置き場
令和○年○月転用予定

伐採の期間の末日から30日以内に提出

報告者の氏名・住所を正確に記載

- 伐採箇所ごとに報告書を作成
- 複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載
- 必要に応じて報告書に係る区域を示す図面を添付

小数第2位まで記載(小数第3位で四捨五入)
人工林、天然林の内訳を記載

伐採率は、立木材積による伐採率

複数の樹種を造林した場合には、造林した樹種ごとに複数行に分けて記載

- 伐採後の用途が森林以外に転用する場合、その用途及び時期を記載
- 相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載

20. 伐採後の造林に係る森林の状況報告書の記載内容・確認のポイント

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

市町村長 殿 住所 報告者 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

年月日

年月日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

記

1 森林の所在場所

市	町	大字	字	地番
郡	村			

2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林	植栽	令和4年3月10日～令和4年4月20日	スギ	2.00ha	4,000本		
			ヒノキ	1.50ha	3,000本		
天然更新	天然下種更新	令和3年12月9日～令和4年7月20日	ブナ、ミズナラ	2.00ha	別添資料による		

3 備考

造林が終了した日から30日以内に提出

伐採後の造林をする者(森林所有者等)が提出

- 造林箇所ごとに報告書を作成
- 複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載
- 必要に応じて報告書に係る区域を示す図面を添付

複数の樹種を造林した場合には、造林した樹種ごとに複数行に分けて記載
全ての地番の合計面積を記載

- 天然更新の場合にあっては、
- 造林樹種は、代表的な樹種の記載
 - 樹種別の造林面積の記載に代えて、造林地全体の面積の記載
 - 樹種別の造林本数の記載に代えて、写真やチェックリスト等の更新状況のわかる資料の添付とすることが可能

○相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載